

荒木レポート 第17号 (2021 春号)



池田市議会報告 発行者 荒木 眞澄 (防災士)

E-mail : araki.masumi.ikeda@gmail.com

自宅 TEL・FAX 072 - 754 - 5540

やる気・本気・荒木

あなたのために働きます

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

本市でも、ようやく新型コロナウイルスワクチン接種が開始されようとしておりますが、未曾有のコロナ禍の影響で、多くの方々におかれましては、未だ不自由な生活様式を強いられていることと思えます。そして、そのような中にも拘わらず、私共 公明党に対しまして、真心からのご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のことと思いますが、昨年12月より、市長控室へのサウナ設置問題に端を発して、本市議会において、調査特別委員会、いわゆる「百条委員会」が設置され、富田市長に対する、

- ①不適切な庁舎使用並びに公金等の私的流用に関すること。
- ②本会議及び常任委員会等における虚偽答弁に関すること。
- ③本市職員等に対するパワハラ疑惑に関すること。

以上3項目についての調査や職員等への証人尋問などが実施されてきました。そして、私自身も、その委員の一人として、真相究明に携わらせていただきました。しかし、誠に遺憾ではありますが、多くの不適切な実態が明らかとなり、本市議会と致しましても、最も厳しい判断を下さざるを得ない状況にきております。

現在のコロナ禍の影響を鑑みれば、何よりも優先して、困窮されているの方々への支援施策の実現に集中し、市政を混乱・停滞させてはならないことこそが、基礎自治体トップの市長としての重要な役割であり、本来あるべき姿ではないでしょうか！

以上のことから、市長においては、首長としての地位に執着することなく、自身のこれまでの言動に対し、多くの市民の皆様、そして職員に対しての謝罪を果たすべく、速やかに、自らの進退を明確にさせていただくことを求めたいと思えます。

したがいまして、今後におきましては、多くの市民の皆様にご納得とご理解を賜り、市長に対しましては厳格に対応していく所存でございますので、ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

どのような小さなことでも、

どうぞお気軽に、お声をおかけください！



令和3年度 3月定例会 代表質問（抜粋）



●孤独・孤立対策の専門的支援体制の構築を！

社会的に孤立している人達をどう見つけ出し、支援につなげるかは喫緊の課題であり、実態の把握や支援策の検討が急がれる。国・府をはじめ、民間団体とも連携しながら、ワンストップにて対応が図れる専門的支援体制を構築すべきでは？

(答弁) 国の新たな事業である「重層的支援体制整備事業」の活用も含め、次期「池田市地域福祉計画」の策定に向けた検討過程において、積極的に取り組む。

●安心して住み続けられる住環境の提供を！

高齢者や、低所得者の住環境は益々厳しいものとなっている。そうした人達に、安心して住み続けられる環境を提供し続けることも、基礎自治体の重要な役割であり、大切なセーフティーネットの一つである。そこで、市営住宅をはじめとする、公営住宅などの必要性は今後ますます増大し、そうしたニーズに対応した新たな住環境の構築と拡充は、時代を見据えた、これからの超高齢化時代に即した重要施策と考えるが、見解を問う。

(答弁) 今後、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う住宅困窮者の状況や市民のニーズを踏まえ、既存民間住宅の活用を含めた住環境の整備について検討を行う。

●地域公共交通の具体的な実行計画の明確化を！

超高齢化社会へと突入した今、いよいよ具体的な実行計画を明確化し、現実的な交通手段を確保する時期と考えるが、見解を問う。

(答弁) 公共交通による移動サービスの重要性は益々高まるものと認識。地域にとって望ましい公共交通サービスの将来的なビジョンや事業体系を具現化していく。

皆様からのお声が、実現いたしました！！

◎令和2年4月より、**新生児聴覚検査費用の公費助成が実現**しました！！

新生児聴覚検査は、生まれて間もない赤ちゃんの耳の聞こえの検査です。出産後、産科医療機関・助産所で実施されます。先天性の聴覚障がい、出生1,000人につき1～2人とされています。早期発見・早期支援により、言葉の発達の遅れやコミュニケーションがとりにくいなどの聴覚障がいによる影響を、最小限に抑えることができます。

ができます。

